

解凍＝混乱＝再凍結

- 三段階モデル
  - 提唱者  心理学者クルト・レヴィン
  - 意味 組織や個人の変革を実現するための３段階のモデル
  - ①「解凍」 今までのやり方を変える準備
  - ②「混乱」 変化にともなう混乱や痛み
  - ③「再凍結」 新しい考え方が定着・適応
  - ポイント
    - 「解凍」から始まっている点
    - 新たな試みには今までのやり方を終わらせる必要がある
- 「転機の三段階」
  - 臨床心理学者のW.ブリッジズも同じ指摘
  - 「終」⇒「中立圏」⇒「開始」
- 昭和の終わらせ方
  - 平成＝昭和を終わらせられなかった時代
  - 
  - 日本人はバブルへの郷愁を捨てきれずにいた
  - 日本がリスペクトされる条件 昭和を終わらせること
- 「解凍」の重要性
  - ナッジ理論
    - 人々の行動を変えるための「つつき」
    - 慣性を断ち切るためには、「解凍」の段階でのナッジが重要